



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,717	0.0	2,649	3.3	3,122	4.1	2,077	11.5
2019年3月期第3四半期	34,729	9.0	2,563	58.0	2,998	54.7	1,862	44.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,611百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 2,422百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	71.38	
2019年3月期第3四半期	63.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	129,843	73,295	56.3
2019年3月期	121,420	66,489	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 73,062百万円 2019年3月期 66,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		12.00	19.00
2020年3月期		8.50			
2020年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	1.6	3,150	11.4	4,000	8.4	2,760	1.1	94.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	30,360,000 株	2019年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,401,186 株	2019年3月期	1,182,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	29,104,481 株	2019年3月期3Q	29,371,095 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復した一方、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速懸念等を背景に先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物の荷動きは底堅く推移したものの、海外経済の影響により輸出入貨物は荷動きに鈍さがみられ、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は低い水準で継続しつつも賃料水準は小幅な上昇に留まるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、昨年12月に創立100周年の節目を迎えた当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「YASDA Next 100」を策定し、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指しております。その一環として、物流事業においては、付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大や物流施設の拡充など事業基盤の強化を図り、不動産事業においては、既存施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進による稼働率の維持・向上に努め、事業拡大を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流事業で減収となった一方、不動産事業が増収となり、営業収益は前年同期比11百万円減(0.0%減)の34,717百万円となりました。一方で、物流事業における倉庫施設の拡張や新設による保管料の増加が寄与し、営業利益は前年同期比85百万円増(3.3%増)の2,649百万円、経常利益は前年同期比123百万円増(4.1%増)の3,122百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比214百万円増(11.5%増)の2,077百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、倉庫施設の拡張や新設により保管料は増加したものの、海上及び航空輸送における大型案件の減少などにより国際貨物取扱料が減少し、営業収益は前年同期比521百万円減(1.7%減)の29,427百万円となりました。一方で、施設の稼働率向上及び業務の合理化などにより、セグメント利益は前年同期比143百万円増(6.1%増)の2,482百万円となりました。

不動産事業では、既存施設にて高い稼働率を維持したことに加え、大規模な施工工事等の受託もあり、営業収益は前年同期比412百万円増(7.8%増)の5,729百万円、セグメント利益は前年同期比88百万円増(5.7%増)の1,638百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の時価評価の増加により、前連結会計年度末に比べ8,422百万円増の129,843百万円となりました。

負債については、投資有価証券の時価評価の増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末に比べ1,615百万円増の56,547百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ6,806百万円増の73,295百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増の56.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,632百万円減の6,153百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保による増加もありましたが、主にその他に含まれる未払消費税等が減少したことや法人税等の支払により2,473百万円増(前年同期は3,864百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産や子会社株式の取得による支出により3,150百万円減(前年同期は2,828百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により919百万円減(前年同期は171百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,800	6,167
受取手形及び営業未収金	7,549	6,608
その他	700	873
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	16,046	13,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,744	33,417
機械装置及び運搬具（純額）	1,123	1,880
工具、器具及び備品（純額）	646	674
土地	22,692	23,018
建設仮勘定	124	728
有形固定資産合計	58,332	59,718
無形固定資産		
のれん	143	1,038
借地権	1,016	1,016
その他	1,553	1,501
無形固定資産合計	2,712	3,556
投資その他の資産		
投資有価証券	42,742	50,984
繰延税金資産	330	314
その他	1,279	1,644
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	44,329	52,921
固定資産合計	105,374	116,196
資産合計	121,420	129,843

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,574	2,963
短期借入金	3,900	4,250
1年内返済予定の長期借入金	3,862	3,740
1年内償還予定の社債	-	62
未払法人税等	723	211
未払費用	1,122	910
その他	1,940	1,635
流動負債合計	16,124	13,774
固定負債		
社債	-	494
長期借入金	20,839	21,750
繰延税金負債	11,563	14,183
退職給付に係る負債	2,123	2,139
長期預り敷金保証金	3,967	3,894
その他	312	310
固定負債合計	38,807	42,773
負債合計	54,931	56,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	33,528	35,008
自己株式	△963	△1,170
株主資本合計	38,970	40,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,390	33,070
為替換算調整勘定	△310	△447
退職給付に係る調整累計額	195	195
その他の包括利益累計額合計	27,275	32,818
非支配株主持分	243	233
純資産合計	66,489	73,295
負債純資産合計	121,420	129,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益		
保管料	5,023	5,398
倉庫作業料	6,611	6,296
陸運料	9,304	9,567
国際貨物取扱料	5,810	5,014
物流賃貸料	1,247	1,226
不動産賃貸料	3,402	3,398
その他	3,329	3,815
営業収益合計	34,729	34,717
営業原価		
作業費	15,729	14,768
人件費	5,433	5,638
賃借料	1,695	1,796
租税公課	675	724
減価償却費	1,840	1,890
その他	4,907	5,187
営業原価合計	30,282	30,005
営業総利益	4,446	4,711
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	888	926
福利厚生費	161	171
退職給付費用	27	27
減価償却費	67	89
支払手数料	271	285
租税公課	97	108
その他	368	453
販売費及び一般管理費合計	1,882	2,062
営業利益	2,563	2,649
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	570	661
雑収入	45	37
営業外収益合計	619	701
営業外費用		
支払利息	181	204
雑支出	2	23
営業外費用合計	184	228
経常利益	2,998	3,122

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	5	1
特別利益合計	5	1
特別損失		
固定資産廃棄損	118	109
企業年金基金脱退損失	20	-
退職給付制度移行損失	133	-
特別損失合計	272	109
税金等調整前四半期純利益	2,731	3,014
法人税、住民税及び事業税	790	849
法人税等調整額	69	91
法人税等合計	859	941
四半期純利益	1,871	2,073
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,862	2,077

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,871	2,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,168	5,680
為替換算調整勘定	△116	△142
退職給付に係る調整額	△8	0
その他の包括利益合計	△4,294	5,538
四半期包括利益	△2,422	7,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,427	7,620
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,731	3,014
減価償却費	1,908	1,979
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	115	△24
受取利息及び受取配当金	△573	△663
支払利息	181	204
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△1
固定資産廃棄損	118	109
企業年金基金脱退損失	20	-
売上債権の増減額 (△は増加)	202	1,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	△637	△1,769
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△22	△72
その他	468	△1,016
小計	4,509	3,350
利息及び配当金の受取額	576	662
利息の支払額	△180	△213
法人税等の支払額	△1,019	△1,326
企業年金基金脱退による支払額	△20	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,864	2,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	△7
定期預金の払戻による収入	10	7
有形固定資産の取得による支出	△2,505	△1,978
有形固定資産の売却による収入	6	15
無形固定資産の取得による支出	△183	△183
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△884
その他	△146	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,828	△3,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50	300
長期借入れによる収入	3,910	2,600
長期借入金の返済による支出	△3,527	△3,012
配当金の支払額	△411	△597
その他	△193	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171	△919
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	884	△1,632
現金及び現金同等物の期首残高	4,876	7,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,761	6,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「その他」に含めていた「のれん」は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形資産資産」の「その他」に表示していた1,696百万円は、「のれん」143百万円、「その他」1,553百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	29,936	4,793	34,729	-	34,729
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	13	524	537	△537	-
計	29,949	5,317	35,266	△537	34,729
セグメント利益	2,338	1,549	3,888	△1,325	2,563

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,325百万円には、セグメント間取引消去△16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,308百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	29,413	5,304	34,717	-	34,717
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	14	425	439	△439	-
計	29,427	5,729	35,157	△439	34,717
セグメント利益	2,482	1,638	4,121	△1,471	2,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,471百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,464百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、大西運輸株式会社の株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては914百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。